

平成 21 年度 第 7 回子育て・環境・魅力づくり部会

開催日時 平成 22 年 1 月 12 日 (火) 午後 6 時 30 分～8 時 20 分

会 場 幸区役所プレハブ会議室

参加委員

専門部会 B 委員：今井部会長、神谷副部会長、石野委員、酒井委員、佐藤委員、庄司委員、
松脇委員

事務局 (企画課)：渡邊課長、高相課長補佐、蓬田課長補佐、小出主査、小俣

議 題 1 「地域コミュニティ活動の推進」について

2 さいわい区民フォーラム 2010 について

3 その他

開会

司会：渡邊課長

- ・渡邊課長が開会のあいさつをしました。
- ・会議の公開について、事務局から委員の了承を得ました。

議事

進行：今井部会長

1 「地域コミュニティ活動の推進」について

事務局が資料 1「子育て・環境・魅力づくり部会のまとめ」を説明し、意見交換をしました。

(今井部会長) 資料 1 の内容について、意見、補足はありますか。取組 5 に「委員会などを設置」するとありますが、他には組織としてどういうパターンがありますか。

(事務局) どういう組織にするかを含めて検討しないといけません。何かを立ち上げないといけません。それを委員会という組織にするかどうかがあり、“など”としてあります。

(神谷副部会長) 取組 2 に「専門家を交えて検討します」とあります。第 2 期区民会議の部会は 3 月で終了ですよ。検討する時間は残されているのですか。

(事務局) 区民会議で検討することになると次期に引継ぐこととなります。あるいは、別の組織を立ち上げて検討するかです。調査検討をするということで予算要求をしていますが、どういう組織で、どういうやり方で進めていくかということは固まっていません。22 年度は課題の把握及び基本方針の検討です。利用者の状況もわかっていません。頂上へのアクセスを検討するとありますが、どの程度の利用があり、どういう意向があるのかなどを含めて調査・検討しないといけません。

(佐藤委員) そういう調査は区民会議ではできないです。今期の区民会議として 5 つの提言がありますが、実施に移すのは次期の新しい区民会議が引き継ぐか、行政が受けてやるのかというと、行政がやるんですね。

(事務局) そこが大きな課題です。区民会議をどう運営するか、進行管理するかがあります。市長は課題解決に向けては自助・共助・公助で、まず自分たちで地域課題については解決する方策を検討することを働きかける。次に自分で解決できないなら地域の中で共助でやる。それでもできないものは公助でやる。そのバランスが重要だと言っています。どういう形でバランスを取りながら、どの段階で何をするのかを決めることも必要だと考えます。地域の中で解決

するものなのか、行政が解決するものなのかを決めないといけません。

(佐藤委員) その方策はどこで検討するのですか。区民会議が委員会を設置することを提言します。それを受けて、設置に向けて具体的に動くのはどこですか。

(事務局) 区民会議でやった方がよいということで進めていくのか、行政側で研究してやっていくのかです。できれば区民会議の中で解決方策などについても検討していくような関わり方ができるものを作らないといけないと思います。

(佐藤委員) 次の区民会議の委員がこれを引き継ぐとは限らないですね。具体的にこういう風に委員会を設置してほしいときちんと言った方がやりやすいですね。参加はするにしても、区民はこうやれああやれとは言えません。次の人が受け取ってくればいいですが、受け取らないとこれで終わってしまいます。

(事務局) 区民会議の継続性が、期で完全に終わるのか、課題として解決する必要性があるということで提言した内容なので、次にうまくつなげていかななくてはいけないと思っています。今期を立ち上げるときにも、提言した内容に対して区民会議がどうかわり、そのあとどうなるのかを見とどけることが必要なのではないかという話がありました。そのところをどうやればよいのかが見えてきていません。

現在は部会に分かれて議論していますが、議論するだけでいいのか、今回のサインの設置のように具体的な協議に参加してもらう形にするのかどうかです。庁舎整備の委員会にも区民会議から委員長に入ってもらっています。区民会議で議論している内容を、実践ベースにどうつなげ、どう参画していくのかです。実践部会を作る方法もあります。課題として提言したものをいかに解決していくのか、その仕組みを作り上げるのも第3期の区民会議の課題かと思っています。

(佐藤委員) 庁舎の建て替えや河原町小学校の建て替えなどは、市が横断的に中心になってやりました。ああいう形で、具体的にする際の呼びかけは行政がやらないと仕方がないです。行政が関連するいろいろな組織を網羅的に集めて、具体的に動くということだけを決めてくれればいいです。そこに部会長も参加を促すように進めればいいです。個々にやるときには、それぞれの母体の会でバックアップをします。

(庄司委員) その時にどういう組織を作るのか、わたしたちのイメージの中でこんなところを考慮しながら進めてほしいということを希望として出した方がよいと思います。そういったものを出しておけば、今後区民会議が実践するグループを作らなくてはいけない状況になったときに前例になりますね。

(松脇委員) 取組2からは重たいと思います。肉付けするには、区民会議の任期は2年なので切れませんが町内会は永続的に続くので、何かの形でこの内容を町内会に出していただき、町内会としてどう考えるか、委員会にも町内会に参加してもらおうと永続性が出ます。自分たちの問題としてやってもらうために、行政から、町内会連合会としてどうですか、意見はありませんかと参加してもらおうように、裾野を広げないと大変です。

(今井部会長) 名称も委員会ではなく協議会などにした方がよいです。

(事務局) 名前を決めていないので、“など”としました。

(佐藤委員) 今必要なことは、いろいろな団体を入れてほしいということです。町内会、PTAなど、多くの団体を入れた組織を作ってほしいということを記載したいです。

(今井部会長) 具体的に羅列しますか。

- (佐藤委員) 「周辺の町会など」とはどんな組織を考えているんだと聞かれたときには、こういう組織を考えていますといえるようにする。
- (事務局) 区民会議は町連やPTAなどの団体から推薦をいただいているので、区民会議が課題として検討した方策に皆さんご参加くださいということが決まれば、そこに集まった方が二重に呼びかけにはならないと思っています。行政から声はかけるんですが、夢見ヶ崎の課題を解決しましょう、そこには町連の代表者に参加して欲しいというします。もう一つは区民会議から代表者に参加して欲しいといったときに、区民会議の委員の方たちは町連から代表として出ている方がいらっしゃるわけです。そうすると、区民会議の代表の方たちが何を代表にして参加するのか関係がよく見えません。佐藤委員がおっしゃるのは、解決の際には区民会議は切れてしまっているという前提だと思います。そこが、区民会議の継続の問題と第3期の人にどう参加してもらおうかが課題だと思います。
- (松脇委員) それは概念的な問題で、やはり永久に続くのは町内会と行政です。区民会議がいくら言っても影響力がありません。行政がイニシアチブをとることによって他の人も納得します。
- (今井部会長) たとえば区庁舎の協議会はどう集めたんですか。
- (事務局) それぞれの団体をお願いをして、推薦してもらいました。夢見ヶ崎についても関連する人たちに絞って、呼びかけることになるでしょう。
- (庄司委員) 夢見ヶ崎に関連するというのは近所の人でやるのではなく、コミュニティの拠点にしようということは、もう少し広い意味です。また、区民会議から提案していますから、何らかの形で区民会議に戻せるところがよかった方がよいと思います。どういう枠になるのかわかりませんが、区民会議の委員も参加できる枠の方がよいと思います。
- (今井部会長) 具体的にこういう団体と入れた方がよいですか。観光協会など入れますか。
- (佐藤委員) 周辺の町会などと言われるのが気になります。町内会やいろいろな団体という風に記述してもらえればよいです。
- (松脇委員) 読んだ人が、自分たちの組織が入っていると思えるものがよいです。
- (庄司委員) 公募もやりたい人がいると思います。
- (事務局) 公募は検討させてください。
- (佐藤委員) 公募というよりも関心のある人はいろいろな会があるので加入してもらい、そこから出てもらえばよいでしょう。子ども会、日吉のわっ、PTAなどあります。
- (神谷副部会長) A部会の人たちもいます。子ども会なら子ども会から一人だけと言わず、いろいろなところから意見が出るのがよいです。
- (佐藤委員) そうすると山のような委員になるので、代表者だけでよいでしょう。集まった上で部会などをつくり、そこには専門的な人が入れればよいです。幸区の建設協会などにも入ってもらい、道路工事なども寄付でやってもらえるようになるとよいです。
- (事務局) こういう方策ができるか、といろいろな人が分野ごとに集まり、広がりができる、地域への解決につながると思います。そこを支援するのが行政の役割だと思います。とっかかりは中心的な代表者の方たちで、実際に検討する際にはフランクに誰でも参加できる仕組みでやろうとか、決め方を検討しておいていただく。この課題の解決についてはこういう人たちがかわり、自分はこの意見がありこういうことならできるよなど、そういう方たちが集まるものができていくと、地域としてもよいのかなと思います。そういう方策を考えることを、区民会議発信でとしてやる。そこに区民会議がどうかかわるかが、まだ見えていないと

ころで、区民会議の運営の仕方を考えないといけないと思います。

(佐藤委員) スタートすれば、区民会議というよりも集まったメンバーでわいわいやってもらい、行政がお金を出す。行政にまず集めてもらい、意見交換をしてもらい、その中でどうするかを決めてもらうのでよいでしょう。

(今井部会長) お金は行政が出すという話で思いましたが、市に「ふるさと応援基金」があります。それを使うと税の優遇制度があります。その中に「自然を守る」という分野があり、夢見ヶ崎の写真があります。そこをクリックすると、夢見ヶ崎ではなく等々力になります。そこに夢見ヶ崎を作ってもらった方がよいと思います。

(事務局) そこに上するには、夢見ヶ崎として寄付金を集めてやった方がよいという合意が必要です。そのためにも議論してもらい、庁内で検討しないとイケません。エントリーは簡単には行きません。大きな基金なら切り崩して使えますが、小さなものは一度使ってしまうと使えません。川崎市では、公園ですと今一番力を入れているのは生田緑地・等々力・富士見公園です。

(庄司委員) その次を夢見ヶ崎にしよう。

(事務局) そうしたいので、議論したいと考えています。

(佐藤委員) まち全体が盛り上がり何かやろうとなれば行政も動くでしょうが、関心が全体的にないです。

(酒井委員) 日吉地区の町連が動かないといけないです。

(神谷副部会長) 日吉は商連も町連もそんな活力はないです。関わりはするでしょうが、自分たちが中心になるのは無理です。

(事務局) 地元の大きなところが関わらないと、回りの人たちも関わりません。

(松脇委員) 参加する人の思い、やる気が大事です。団体の代表もいいですが、代表は忙しいです。たとえばまちづくりでも、菅野さんは忙しくアイデアを出すのは難しいです。まちづくりの中で話をすればそれはやろうという人もいるので、代表と固定せずにやる気のある人を集めた方がよいでしょう。

(神谷副部会長) 子ども会なら子ども会として出るのはよいですが、私一人でやるのは無理なので、別な形で他の人も参加できる形にしたいですね。

(事務局) 次の区民会議のあり方にも関わりますが、どういう方に参加していただくかです。団体の活動と両方に参加できて、また、解決にも出てきてもらうとなると今以上に参加いただくこととなります。そういった活動に参加できる立場の方に、第3期はお願いしたいと思います。

(庄司委員) スケジュール的にはどう考えていますか。

(事務局) 予算をこれから議会に諮ります。予算が固まれば、翌年度に委員会なり協議会なりを立ち上げる準備を始めたいと考えています。

(酒井委員) 佐藤委員が言われたように、その時だけでなく継続してやってほしいです。

(事務局) 地域の課題として重要だと区民会議の中で位置づけしていますので、それをいかに継続して解決策を検討していくかです。解決までの仕組みを作らないといけないと思います。

(今井部会長) 周辺の町内会という表現を全体会までに改めて、広く参加してもらえるものに訂正をお願いします。現状と課題のところ「ゆめみにゆーす」を年4回200部とあります。幸タウンカフェ通信でも、今年の1月1日号から園長先生にお願いして「夢見のスター」たちと題して記事を連載しています。年4回発行で特集を組んでいますので、それについても触れてください。

これを区民会議で発表しないといけません。部会検討の経過と現状を神谷副部長、まとめと前年度の取組内容を佐藤委員にお願いします。

2 さいわい区民フォーラム 2010 について

事務局が資料 2「部会 B 分科会 進め方(案)」、資料 4「さいわい区民フォーラム 2010(案)」を説明し、意見交換をしました。

(庄司委員) 参加者の皆さんは、発言するのはどこから発言したらよいかわからないので、課題などの報告はあらかじめ書いておいて、こういった地図に自由に書ける時間をとり、一人ずつ発表してもらうのが参加しやすいと思います。話題提供は園長先生がよいと思います。

(松脇委員) 参加者は夢見ヶ崎について知っている内容に差があるので、イメージがわかりにくいから課題は与えた方がよいでしょう。マップで見やすいようにすると意見が出やすいと思います。

(今井部会長) 園長先生に早目にお願いできるとよいです。

(事務局) 園長は予定が入っていてだめだそうです。漠然とではなくこういう話題を提供してくれとお願いすれば、園長さん以外の方でも協力していただけるそうです。

(庄司委員) 話題提供も 50 分の中でするんですね。

(事務局) ここに時間を取ると、参加者の意見が聞けません。

(今井部会長) 疑問が出たときに聞くこともあるので、園の人には来てもらった方がよいです。

(庄司委員) 「日吉のワッ」でも、歩いたときの感想やアンケートを紹介できます。

(今井部会長) 話題提供者と 2 人くらいお願いするとよいです。

(庄司委員) 参加者として来ていて、疑問があったときに回答していただくとよいです。郷土史家の方など、役があると参加していただけます。

(今井部会長) 分科会の進行は庄司さんをお願いできますか。

(庄司委員) 1 グループでやるか、2 グループでやるかもあります。

(事務局) それは集まった人数にもよります。

(今井部会長) 二つですと進行役や書記が倍になります。

(石野委員) そうなると大変ですね。

(庄司委員) 1 グループでは、間に地図を入れて書いたり貼ったりするのは大変だと思います。大人数では作業が大変なので、40 人来た場合は、20 人ずつの 2 グループなどに分けた方がよいでしょう。

(事務局) 2 セット用意しておき、集まった人数によって 2 グループに分けることもあります。

(庄司委員) その場でどちらにするか決めましょう。来てくださいとアピールしましょう。

(神谷副部長) 大きな地図を床に置いてポストイットや絵で書くイメージですね。

(庄司委員) 2 セットは必要でしょう。

(今井部会長) そうなると進行者と書記は 2 人ですね。

(庄司委員) 部会員を 2 グループに分けて、それぞれが進行についた方がよいです。進行者がつくよりもリラックスした雰囲気でき、参加しやすいです。

(庄司委員) 最初こういうことをしますと説明し、話題提供は一緒にしてもらい、作業をするときに二つに分かれましょう。

(石野委員) 総合の司会だけ決めれば、マップづくりの進行者はそれぞれがつけばよいでしょう。

- (事務局) 3月20日前に、事前のリハーサルをします。ただ、役割分担をしておかないとシナリオなどの問題があります。
- (松脇委員) 書記をやります。
- (今井部会長) マップづくり進行者をします。
- (神谷副部会長) 総合進行は庄司委員にお願いします。
- (今井部会長) 話題提供者は園の人にお願ひしましょう。「日吉のわッ」の人にもお手伝いをお願ひしたいです。
- (庄司委員) どう声をかければよいですか。何か聞かれたら教えてあげてと声をかけましょう。最初に話すのは園の人ですね。
- (佐藤委員) 問題提起をしてもらわないと困ります。質問があれば答える形がよいでしょう。あまり話しをすると、一般の参加者が意見が言えなくなります。
- (酒井委員) 書記をします。
- (神谷副部会長) マップづくり進行者をします。
- (石野委員) マップづくり進行者をします。
- (佐藤委員) マップづくり進行者をします。
- (今井部会長) 本日のいない人は後で決めます。全体の役も必要です。受付は事務局にお願いします。
- (事務局) フォーラム全体の総合司会は事務局がします。
- (今井部会長) 開会あいさつは庄司委員長で、部会報告は部会長です。
- (庄司委員) 分科会報告は書記の方にお願いします。
- (事務局) アトラクションは塚越中学校にお願いしています。フルバンドはスペース的に無理なので、吹奏楽部のアンサンブルです。
- (神谷副部会長) その人たちにも、マップづくりに参加してもらいたいです。早くに言っていただければ参加できるということでした。
- (今井部会長) そのことも、願ひするときに付け加えていただきたいです。
- (事務局) 分科会の内容が決まればお願いします。
- (今井部会長) かわさきチャレンジの副代表はフルートで、メンバー2人が吹奏楽部の部員です。
- (事務局) 子どもたちからも、友人などに声をかけてもらえるとよいです。
- (庄司委員) どちらの分科会に参加するかを、どの時点で決めるのかを決めておかないといけないうでしょう。
- (事務局) 皆さんの団体にも声をかけてください。声をかけるときに、部会の内容を説明するので、その方たちは会場で分けるというわけにはいきません。
- (松脇委員) 前回の参加者は何名ですか。
- (事務局) 委員や事務局を含めて80名です。
- (松脇委員) 行政の職員の方にも参加してもらいたいです。
- (佐藤委員) 行政が意見交換に入ると、わかってしまいます。一般の人はチラシをまいたくらいでは来ません。意見を書いて出せなどということは宣伝しない方がよいです。
- (今井部会長) 分科会という名称でない方がよいです。ワークショップや分科会はいやだという人がいます。
- (佐藤委員) 書かせるよりも、自由にしゃべらせて書いて貼る方が参加しやすいです。
- (神谷副部会長) 「マップづくりをしよう！」などの表現の方がよいです。

(今井部会長) チラシのタイトルも副題でやわらかいものをつけた方がよいでしょう。

(石野委員) 「フォーラム」も固いです。何か別の表現を考えましょう。

事務局が資料3「幸区区民会議フォーラム パネル案」を説明し、意見交換をしました。

(今井部会長) レッサーパンダ、ミーアキャットなどの写真があるとよいです。ミーアキャットの双子が生まれました。

(事務局) 夢見ヶ崎動物公園が持っている写真には、ミーアキャットはありませんでした。レッサーパンダ、ペンギンなどの写真があります。

(神谷副部会長) 11月29日に子ども会で夢見ヶ崎の写生大会をしました。その展示と表彰式が決まっています。絵を展示できるとよいです。

(事務局) ギャラリーには人が貼りつかないので、絵を預かると事故があると困ります。カラーコピーなどなら可能です。

(庄司委員) 「日吉のワッ」でかたを作っています。読み札ができ、いま絵をお願いしているところです。加瀬山に関連する句もあるので紹介できるとよいです。

(佐藤委員) 地域振興課で昔の写真を集め、区役所の1階で掲示しています。加瀬山に関する写真は、掲示できるとよいです。以前、加瀬山の中に歴史館のようなものをつくるという提案がありました。

(事務局) 一部は日吉分館で展示しています。

(佐藤委員) 新庁舎の中に作ってはどうかという提案を出している人もいます。歴史的な展示をすれば、そういう人も意見を言いに来るでしょう。

(今井部会長) 動物だけでなく、子どもの絵や昔の写真なども、貼ってもらう。カルタも何か展示する。お土産で絵本は出せますか。

(事務局) 全員ではないですが、提供できます。社会を明るくする運動の事務局から、鉛筆なども100セットいただいています。

(今井部会長) チラシに動物の絵本や鉛筆などお土産を書いた方がよいです。部会はもう一度開催しなくてよいですね。

(事務局) 進行の打ち合わせは3月に実施します。

3. その他

特になし

以上